

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第4回宮崎市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和5年10月11日(水) 午後14時00分～午後15時50分
開催場所	宮崎市上下水道局4階 大会議室(宮崎市鶴島3丁目252番地)
会長氏名	鈴木 祥広
出席者氏名 (委員)	鈴木会長、中川委員、藤崎委員(オンライン)、河野委員、深野木委員、岩切(千)委員、清水委員、岩切(典)委員、早瀬委員、工藤委員、佐々木委員(計11名)
欠席者氏名 (委員)	清家委員、時任委員、肥田木委員、圖師委員(計4名)
事務局	下郡上下水道局長、武田管理部長、田淵水道部長、仁田脇下水道部長、大木総務課長、高力財務課長、矢野料金課長、飯干給排水設備課長、蛭原水道整備課長、徳永配水管理課長、山元浄水課長、大谷営業所工務課長、川元下水道整備課長、中野下水道施設課長、長倉財務課長補佐、渡部主査、黒木主査、柳田主任主事
傍聴者	報道関係 1名
次 第	議 事 (1) お客さまアンケートの実施について (2) 投資・財政計画ローリングを踏まえた経営シミュレーションについて 報 告 令和4年度事業会計決算について

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局 司会： 財務課課長 補佐	<p>ただいまより、『令和5年度 第4回宮崎市上下水道事業経営審議会』を始める。</p> <p>初めに資料の確認をさせていただく。 まず、机の上の資料である。本日の【会次第】、裏面が【経営審議会委員名簿】となっている。</p> <p>【報告】令和4年度 事業会計決算報告 事前質問整理票 【追加資料】③適正な料金（公共下水道事業）</p> <p>続いて、事前に送付させていただいた資料 【資料1】お客さまアンケートの実施について 参 考 宮崎市上下水道事業に関するお客さまアンケート 【資料2】投資・財政計画ローリングを踏まえた経営シミュレーションについて</p> <p>以上、お手元にあるか。もし不足があればお知らせいただきたい。 なお、別途、黄色いフラットファイルを備え付けている。こちらには「みやざき水ビジョン2020」、「経営戦略」、「事業概要」をファイルしており必要な折にご参照いただきたい。</p> <p>それでは、宮崎市上下水道局長がごあいさつ申し上げます。</p>
局 長	<p>審議会委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただき感謝申し上げます。</p> <p>上下水道に関わる動きが県内外であった。県内では高千穂町が30年ぶり29.4%、県外では沖縄県が30%、神奈川県営水道、岡山市が25%の改定を検討しているとのことである。</p> <p>また、9月に総務省から全国市町村の公営企業の令和4年度決算統計が公表された。水道事業の概要を見ると、人口減少に伴い給水収益が減少している、物価高騰により燃料費が高騰していること等から経常収支比率が前年度より悪化している。</p> <p>下水道事業についても費用が高騰しているため経費回収率が悪化している。いずれも全国的な傾向である。このことから各自治体で様々な動きがあるのではないかと考えている。</p> <p>本審議会では前回に投資・財政計画ローリングについて説明した。本日は更に踏み込んだ協議をお願いする。</p> <p>大変重要な会議であり、皆様方の忌憚のないご意見を十分に発言いただきたい。</p>

<p>財務課課長 補佐</p>	<p>本日の審議会には、委員15名中、オンラインによる参加の1名を含む、11名の委員の皆様にご出席いただいている。</p> <p>宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第3項により、半数以上の委員が出席されているので、本会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>本審議会は原則公開することとしており、本日も報道関係等が傍聴している。</p> <p>また、会議の資料や議論された内容については、後日上下水道局のホームページに掲載し公開することになるので、ご承知おきいただきたい。</p> <p>それでは、会議に入らせていただく。</p> <p>宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項の規定に基づき会長に会議の進行をお願いする。</p>
<p>会 長</p>	<p>議事を始める前にあいさつさせていただく。</p> <p>前回、宿題となっていた施策評価の外部評価を作成いただきありがとうございました。結果については次回の経営審議会で説明があるとのことである。</p> <p>局長のあいさつにあったが、前回、投資・財政計画のローリング結果から、上下水道ともに財政状況が非常に厳しいということを共通した認識として理解したところである。</p> <p>そのうえで、どうしてもしなければならない建設費をどう確保したら良いのか、借金である企業債残高をどうやって減らしていけば良いのか、適正な上下水道料金の水準をどう考えたら良いのか、検討しなければならない課題が示された。</p> <p>そこで前回、私からいくつかシミュレーションをだしてどのような状況でどうなるのか事務局案を示すようお願いした。</p> <p>本日は、その事務局案が示されることになっている。</p> <p>「適正な上下水道料金のあり方」を検討することになるが、この先、5年10年以上の長期的な視点に立って、どのように上下水道料金を設定していけば良いのか委員の皆様には議論をお願いする。</p> <p>委員の皆様には非常に難しい内容をご検討いただいて議論することになる。</p> <p>宮崎市の上下水道が安定的に持続し発展するため本日の会議が実りあるものになるよう祈念して、あいさつとする。</p> <p>それでは審議を始める。</p> <p>まず、議事（1）「お客さまアンケートの実施について」事務局から説明をお願いする。</p>

事務局 財務課長	「資料1 お客さまアンケートの実施について」により説明
会 長	アンケートを実施すること、質問項目を前回からわかりやすくなるよう変更すること、実施の方法にインターネットを活用する等の説明があった。委員から質問等はないか。 実施時期は11月10日から30日となっているが、20日間で十分か。
財務課長	十分と考えている。
会 長	アンケートの調査結果は、料金改定の検討の中でも重要な判断材料になる。次回の経営審議会ではアンケート結果の報告があるか。
財務課長	料金改定についてや上下水道局の投資についての考え方等についての市民の皆様の意見が反映されると考えている。 11月30日までにアンケートを回収し、12月中に集計を行い、報告については1月の経営審議会で行う。 料金改定について1月から2月に最終的な検討をする中で、判断材料になると考えている。
会 長	皆様から事務局の説明に対してご意見はないか。 それでは議事の(2)投資・財政計画ローリングを踏まえた経営シミュレーションについて、事務局から説明をお願いします。
財務課長	「資料2 投資・財政計画のローリングを踏まえた経営シミュレーションについて」により説明
会 長	ただ今の事務局の説明に委員から質問等はないか。 建設改良費について、事業の後ろ倒しはできない、工事を減らすことも難しいということを理解した。 企業債残高は類似団体の倍以上ある。事務局には令和15年までに企業債残高をどの程度減らす等の案があるのか。
財務課長	企業債残高の削減目標について、経営戦略で給水人口1人当たりの企業債残高を設定しており、令和11年度を目標としていたところ現時点で達成している。 企業債残高が他の事業体より多い状況だが、少しアクセルを緩めるべきではないか、社会経済情勢が厳しい中で、現在のペースでの削減は困難ではないかと考えており、次回のシミュレーションのなかでお示ししたい。
会 長	委員から質問等はないか。

委員	<p>資料2の4ページに類似団体との比較があるが、類似団体とは何か。また、企業債残高が増加した3つの局面が示されているが、合併し市域が拡大したことが原因なのか、他に理由があるのか。</p>
財務課長	<p>類似団体とは総務省が全国の水道事業体の経営状況をまとめた経営比較分析表を作成して給水人口規模別に仕分けしており、30万人以上の事業体を宮崎市の類似団体として比較している。</p> <p>企業債残高については、宮崎市は合併前から徐々に増加していた。広い市域に多くの管路や配水池等の施設が必要になる。このような投資をするために企業債という財源に頼らざるを得なかった宮崎市の状況があった。旧町も同じ状況であり、合併により引き継いだ。宮崎市の合併前の企業債残高対給水収益比率は400%程度だった。</p>
会長	<p>資料2の6ページの適正な料金について、グラフを見ると収支の見込みでは何もしないと令和10年度に赤字になる。資金残高の見込みでは30億円程度の資金残高がないと事業の継続は難しいが、5%程度の料金改定だと令和11年度では30億円を割り込んでしまう。10%だと38億円程度になるので、5%から10%の間が必要になる。</p> <p>7ページでは資産維持率が国の標準値の3%としているところ、前回の改定では0.45%だったが、それでも20%の改定になった。</p> <p>次回のシミュレーションでは資産維持率を調整することになる。</p> <p>8ページでは黄色い星マークのところ水道料金が334.9億円になっており、9ページでは7.77%改定後に346.2億円になっているがどういう意味なのか。</p>
財務課長	<p>8ページでは、現在の水道料金で令和7年度から11年度に26億円の資金不足が発生する。</p> <p>7年度に7.77%の改定を行えば11年度まで30億円の資金残高を確保しつつ現在計画している事業を進めることができることを示している。</p>
会長	<p>9ページでは、令和7年度に7.77%の改定を行ったとしても、令和12年度から16年度では37.8億円の資金不足が発生するということか。</p>
財務課長	<p>そうである。改定率が大きくなると好ましくないと考えている。</p> <p>7.77%の改定率をだし、更に5年後には10%の改定が必要になるシミュレーションだが、後年度に改定率が大きくなならないシミュレーションについても今後お示し、その上で、市民生活に許容できるものかご審議をいただきたい。</p>

会 長	<p>8・9ページが私がお願いして出していたいただいたシミュレーションだが、今後、どこまで企業債を増やすのか減らすのか、水道料金を上げるのか上げないのかということのせめぎ合いになる。建設費は変えられない。委員の皆様にご意見はないか。</p> <p>次に、下水道については使用料単価150円/m³が国の目安だが現在の宮崎市の場合は133.66円で全く足りない。</p> <p>類似団体は経費回収率が100%近くを推移しているが宮崎市は88.52%である。足りない分は税金から繰入金として投入している。他に回せる税金を下水道に使っている状況である。</p> <p>経費回収率100%を目指すことが必要というのが事務局の説明であり、次回の審議会で更に資料が出されると言うことである。</p> <p>このことについて、委員の皆様にご意見はないか。</p> <p>抜本的な画期的な解決策はないので、どうやって調整していくかを経営審議会で答申しなければならない。各所属の団体から推薦された委員の皆様なので、どの辺りが現実的なのか、次の審議会までに情報収集をお願いしたい。</p> <p>それでは報告「令和4年度事業会計決算について」事務局から説明をお願いします。</p>
財務課長	「報告 令和4年度 事業会計決算報告」により説明
会 長	<p>ただ今の令和4年度事業会計決算の説明についてご質問・ご意見はないか。</p> <p>この決算は議会の認定を受けてはいるが、議員はあまり深刻に受けとっていないのではないか。</p>
局 長	<p>審議会に対し諮問を出した後、市議会の会派から要望があり8月に勉強会を行い、厳しい経営の状況を説明した。9月議会では適正な料金のあり方について一般質問もあった。</p> <p>市議会の複数の会派から勉強会の要望がきており、11月にも開催して理解を深めていただく予定である。</p>
会 長	<p>全体をとおして意見等ないか。</p> <p>なければ議事を終了する。</p>
財務課 課長補佐	<p>鈴木会長には、会議の進行について感謝申し上げます。</p> <p>次回の会議開催の日程は11月9日（木）14時の開催を予定している。別途文書にて案内するが、皆様方には、日程の調整をお願いします。</p> <p>それでは、以上で令和5年度第4回宮崎市上下水道事業経営審議会を終了する。</p>
	(閉会)